

従業員のみなさまへ

この度、SDGsへのツインズグループの取組内容の案内や、SDGsへの知識をより深めてもらうことを目的に定期的にSDGs通信を発行する運びとなりました。

SDGsは企業として継続的に取り組まなければなりません。

この通信を通じて、新たな提案募集や進捗共有を行っていかれたらと思いますので従業員みなさまの知恵とパワーで盛り上げていきましょう。

①SDGsとは

2030年、今日の前にいる子どもは何歳になっていますか？

子ども達が笑って暮らせる未来のために、2030年までに世界中でやるべき目標、それが“SDGs:Sustainable Development Goals”です。

簡単に言えば地球がずっと続くために環境・社会・経済の3つの観点からつくられた17の目標です。

SDGsの最初の“S:サステナブル”は「持続可能な、ずっと続く」という意味で、

SDGsのキモとされるキーワードです。

例えば、商品を作るメーカー側も買う消費者側も、「それがサステナブルかどうか」という意識や視点をもつことが大切です。

SDGsの目標達成には企業・組織単位の活動だけではなく、個人個人の意識の高まりが達成のカギとなります。

SDGs通信を通して、ツインズグループの社員やそれに関わる人々が、未来のために自分ができることを、会社や日常生活から見つけて頂ければ幸いです。

②上期の進捗報告

3. 全ての人に健康と福祉を

「人々の健康に寄与する」会社であり、子供からお年寄り、障がい者と幅広く使用可能な商品、健康維持商品の開発/製造/販売/を行い、販売商品も市場マーケティングを行うことで更なる改良/新商品開発につなげています。

5. ジェンダー平等を実現

21年3月末 外国籍就労 3名 雇用男女比率（含、パート）＝男性 55%：女性 45%

↓

21年9月末 外国籍就労 3名 雇用男女比率（含、パート）＝男性 50%：女性 50%

8. 働き甲斐も経済成長も

コロナ禍における蜜回避/感染防止の目線からではあったが、「リモートデスクトップ」を利用したテレワーク、時差出勤、WEB商談を推奨した結果、移動時間の削減による経費削減・時間の有効活用につながりました。良かった点は継続していきます。

12. 作る責任/使う責任 「責任ある生産/消費」

玉ねぎの外皮と天然成分を活用したエコ素材「ONIBEGIE」を用いたヨガウェアを、今年9月 Real Stoneから販売開始しました。

～編集後記～

キャップ集めから約1か月。何個あるんだろう？と数えてみました!! 稼働日16日経過だけなのに本社だけで132個(8本/日)!! 飲んでますねえ。多い？少ない？YOUはどう思いますか？



今月の投稿

ペットボトルキャップの回収を始めました

10月1日より、ペットボトルキャップの回収を始めました。回収したキャップは、自販機会社様に収集いただき、そこからNPO法人キャップの貯金箱推進ネットワークに提供されます。そこで、障がい者の方々にゴミ除去などを依頼(自立支援)し、その後リサイクルメーカーに売却します。その収益がNPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会に寄付される流れです。

ワクチン1本分にはキャップ800個が必要で、とても地道な活動ですが、ただゴミとして処理されていたものが、分別のひとつで消えてしまう命を救えることになります。たかが1個、されど1個です。小さなことが大きなことにつながると意識して協力していただきたいと思います。

ご自宅からの持ち込みも大歓迎です!!
でも、ワクチン運動だからとペットボトルを無理やり購入する必要はないですよ!! まずはマイボトルを利用いただきたいのですが・・・(笑)



今月のこの人

梶原 隆司
(社長)

- ジェンダー平等、マルチナショナルを実現
- 男女雇用比率 男性50%：女性50%
- 女性役職者4名
- 外国籍従業員5名(パート、中国事務所含む)

女性特有の気配り、センスの良さ、仕事をしながらもしっかり家事をこなす器用さ、要領の良さ…にはいつも感心しており、男性より優れている面も多々あり、頼もしい戦力となってもらっている。また、日本で就労している外国人は非常に優秀な人材が多く、日本語が下手でもお釣りがくるほどの技量を持ち合わせている。

今後も積極的に女性や外国人の雇用を増やし、活躍してもらえる職場を提供することが会社の発展繁栄にもつながると日々感じている。

次回はこの人・・・ 土田統括本部長